

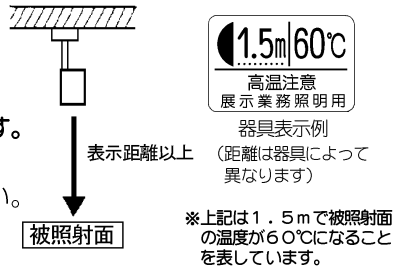
施工説明

電気工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全上のご注意

⚠ 警告

- 施工は取扱説明書にしたがい、確実に行ってください。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- この器具は展示業務用照明器具です。点灯中は灯具が高温となりますので、
床上180cm以上の場所に取り付けてください。やけどのおそれがあります。
- 器具を改造しないでください。落下・感電・火災のおそれがあります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
- 器具と被照射面との距離は器具に表示してある距離以上離してください。
被照射物の火災・変色のおそれがあります。

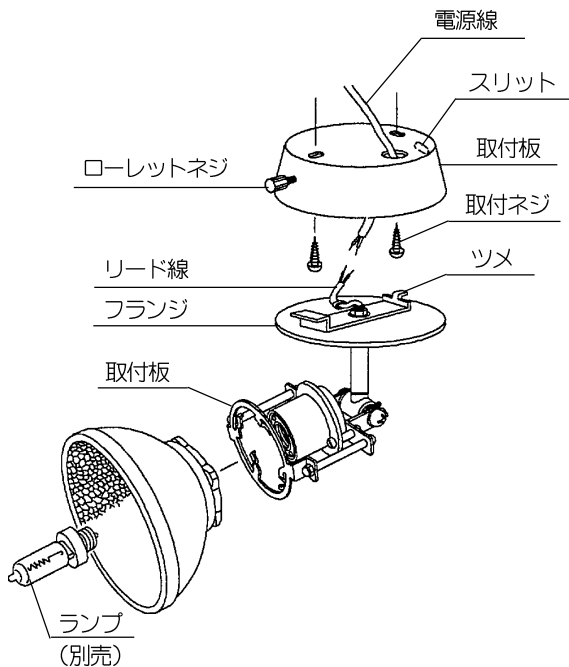


⚠ 注意

- 直接日光の当る場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

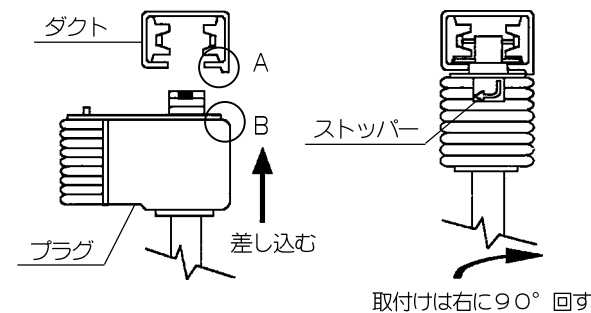
各部のなまえと取付けかた

■ フランジタイプ



- ①取付前の確認をする
器具質量に耐えるよう、取付部の強度を確保します。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ②フランジと取付板を分離する
ローレットネジをはずしてください。
- ③取付板を取付ける
付属の取付ネジで器具取付位置に確実に取付けます。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ④電源線とリード線を結線する
確実に結線し、結線後は確実に絶縁してください。
不備がありますと火災・感電の原因となります。
- ⑤反射鏡を取り付ける（ガラスダイクロイックタイプ）
3ページの「反射鏡の着脱のしかた」に従って行ってください。（反射鏡は別売です。）
不備がありますと火災・落下の原因となります。
- ⑥フランジと取付板を組み付ける
ローレットネジで確実に取付けます。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ⑦ランプを取付ける（ランプは別売です）
3ページの「ランプ交換のしかた」に従って確実に行ってください。
不備がありますと火災・感電・不点灯の原因となります。

■ ダクトプラグタイプ



●ダクトにプラグを取り付ける

- ・A・Bの凸凹を合わせてプラグをダクトに差し込み、プラグを右に回します。
 - ・ストッパーがダクトに入り、取付が完了します。
不備がありますと感電・器具落下の原因となります。
- ※取外しはストッパーを下に押し下げ、左に90°回してください。
不備がありますと感電・破損の原因となります。

取扱説明

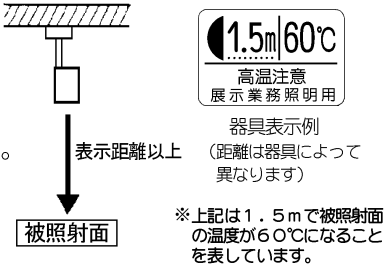
お客様へ、この説明書は大切に保管ください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

⚠ 警告

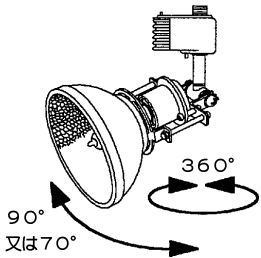
- 器具を改造しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。
火災の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。
- 感電・火災の原因となります。
- 器具と被照射面は1ページの照射面近接限度の距離以上離してください。
被照射物の火災・変色の原因となります。



⚠ 注意

- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かないでください。
火災の原因となります。
- この器具は屋内専用で5～35℃の範囲で使用するよう設計されています。湿気の多い場所や水のかかる場所、温度の高い場所などには使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際には必ず電源を切って、約20分間待ってから行ってください。
感電・やけどの原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書に従って、指定されたランプを使用してください。
指定以外のランプを使用しますと、火災の原因となります。
- 3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。（使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。）

ご使用方法



■照射方向の調整方法について

- 回転は左図に示す2箇所で行うことができます。但し、一定以上に動かない構造となっておりますので、無理に力を加えないでください。



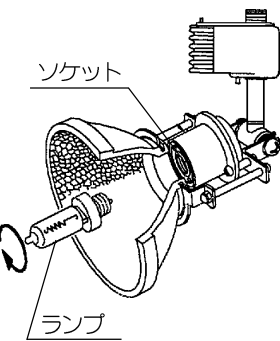
点灯中、器具本体はたいへん高温となります。照射方向を調整する場合は、厚手の皮手袋をはめる等してやけどには充分な注意をはらってください。

ランプ交換のしかた

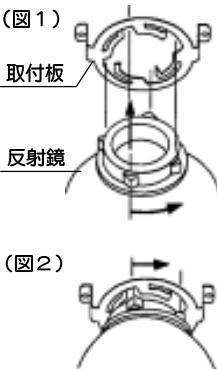
反射鏡着脱のしかた

⚠ 注意

必ず電源を切ってください。感電・やけどの原因になります。



- ゆるみ、ガタ等がないように、ソケットの奥までねじ込んでください。不備がありますとランプ落下・不点灯の原因となります。
- ランプは器具表示に従って、指定されたランプを必ず使用してください。火災の原因となります。



●取付方法

- 1.反射鏡の4つの突起と取付板の4つの切欠の位置を合わせます。（図1）
- 2.反射鏡を押し上げます。
- 3.反射鏡を取付板に押しながら右に回します。（図2）

●取外し方法

- 反射鏡を左に回して外します。
- ※ご注意
反射鏡を取り外した状態で点灯しますと火災の原因となります。

ランプ交換・反射鏡の着脱は必ず電源を切って約20分待ってから行ってください。

- ランプには素手でさわらないでください。万一、指紋や汚れ、脂等ついた場合は、裏面の「お手入れの方法」に従ってアルコール・中性洗剤などで拭いてください。